

堺のヒト・モノ・世界をつなぐ

堺IPC

SAKAI CITY INDUSTRIAL PROMOTION CENTER
www.sakai-ipc.jp

PRESS

●特集

次世代の未来を

共に創り育てる

ポッシュフェイス株式会社／不二合金株式会社／太陽ブリキ印刷株式会社

●モノダン×モノジョ 8

金融畑で培った経営センスを
家業のものづくりで活かす。

羽衣電気株式会社 北田昇平さん

●さかいモノ語り 11

上質の宇治抹茶で、ご馳走茶漬け。

西尾茗香園茶舗

2016.4
VOL.

39



case

01

バイクのカスタム部品の 企画開発から製造まで

主に国内メーカーのバイクを対象としたカスタムパーツを企画開発から行っており、品質やデザイン性の高さなどに定評がある。創業時からの輸出先であるアメリカに加えて、最近ではドイツをはじめとするヨーロッパや、趣味性の高いバイクへの関心が高まりつつある東南アジアへと販売網を広げつつある。

現場で考え、体得させる。

ポッシュフェイス株式会社 専務取締役 角野豊

若者の理系離れ、ものづくり離れが叫ばれるなか、とりわけ中小企業において若い世代の人材確保・人材育成が大きな課題となっています。採用だけではなく、その後、自社に定着し、さらに成長を促していくかということも、多くの経営者が共有できるテーマではないでしょうか。今号は、長期的視野で次世代の若者の育成に取り組む3社にお話をうかがいました。

多くのバイク愛好家が信頼する カスタムパーツメーカー

「自分だけのバイクを」というバイク愛好家たちの思いにこたえて、カスタムパーツなどの製造販売を行うポッシュフェイス。テールランプやフェンダーレスキットなど、アイテム数は1万2千点にものぼります。通常は販売店を通して購入している顧客たちと直接交流できる場である、全国各地で開催される展示会イベントにおいて、同社もデモ用バイクを用意し、製品のアピールはもちろん、顧客の声を聞く場として活用しています。そこでキャッチした顧客ニーズを、次の商品開発にスピーディーに反映させられるところが、製造部門を持つ同社ならではの強み、と角野豊専務取締役は語っています。

そして何よりも、多くのバイク愛好家たちから大きな信頼を得ている理由は、POSH(ポッシュ)というブランド名で親しまれる同社製品の高い品質にあります。「愛好家の方々が求める傷ひとつない美しい仕上がりは、日本の繊細なもののづくりが成せる技で、輸入品にはないものです。20年ほど昔のことになります。アメリカ製のピストンを見た時に、製造途中の半製品かと思つたこともありました(笑)」と角野正樹社長。この優れた日本のものづくりを次代へつなぐためにも、若い人を育てていきたいと話しています。

現場で仕事を通して考え 自分で答えを見つけることが大切

昨今、若者のバイク離れが顕著で、愛好者の最も厚い層は40〜50代のシニアだということ。同社の製造現場も同じような状況にあり、創業時から活躍している当時20代の社員たちが40代となり、事業を継承していくうえで、次世代の育成が重要な課題となりました。昔は求人すれば、多くのバイク好きが応募したそうですが、今は若い人の採用、定着が難しくなっていることを実感していると角野専務は言います。

そうしたなかで同社では、バイク雑誌に求人広告を出すなど、バイクに関心のある若者にアプローチし、ものづくりが

好きな20代を積極的に採用しています。技術や知識をどのように習得させているのかをうかがいました。

「まずは現場で仕事をしながら覚えてもらいます。よくわからないなりに、自分で考えてやってみることが大切だと考えていますから。そうして半年から1年経つてから、バイクメーカー主催の講習会に参加させています。現場で自分が疑問に思つたことを専門家に指導されるほうが、納得して学ぶことができる。それが仕事への興味を深めたり面白くなったりするきっかけになると思いますね」と角野専務。

最後の繊細な仕上げは技術者の長年の経験に基づく手作業であり、同じ材料でも夏と冬で異なる環境に応じて作業の加減を変えることも、現場での試行錯誤のなかで体得していくものだということでした。

仕事が合わない時は 部署替えの配慮も

せっかく技術を習得させても定着しないという悩みを持つ企業は少なくありません。ポッシュフェイスも例外ではありませんが、一つの解決法として、部署替えを行うこともあるとか。「当社には、製造、営業、出荷・購買の3部門がありますが、仕事が合わないと思うようであれば、他部門へ異動させます。そ

れにより新たなやり甲斐を見つけた人もいますし、違う立場になったことでお互いの仕事への理解が深まる効果もありますね」(角野専務)。

そして、時には製造担当の社員を展示会に連れていくことも。自分が作ったものが購入されるのを見たり、直接ユーザーと話をしたりすることが、仕事への誇りやモチベーションにつながると考えています。

小さいうちからバイクと親しんでもらえればと、イベントに子ども用バイクを提供することもあるポッシュフェイス。「若い人たちに、ものづくりが楽しいということも知ってもらいたい」と角野専務は語っています。

ポッシュフェイス株式会社



▲角野正樹社長を囲んで



◀展示会用に、ポッシュフェイス製の部品でカスタマイズされたバイク。会社まで訪ねてきたユーザーもいたという。

代表者名/代表取締役 角野正樹
本社/堺市堺区南清水町1-7-14
TEL/072-229-2468
設立/1994年
資本金/2,000万円
従業員数/20名
事業内容/自動二輪車部品製造販売
<http://www.posh-faith.co.jp/>



若い世代の情報発信力や 感性を生かした事業展開へ

「展示会会場のその場からフェイスブックなどのSNSで、製品について発信されると、すぐに別のユーザーが見にこられたりして、今の若者たちの情報発信力に驚くばかりです」と角野専務。地図ではなく、スマホにナビをさせたり、簡単にカスタマイズできることが求められたりする現代の若者たちのニーズには、当社の若い社員たちの感性で応えていきたいと語る。



銅合金の技術を礎に 次代の新材料を模索

錆びない、音の鳴りがいい、焼き付けを起こさないといった銅合金の特色から、船舶の汽笛や冷却装置、電気機械などに使われる製品を多く製造してきた不二合金。創業百周年を機に、次代に向けて新たな境地の開拓を目指す。「チタンなのかマグネシウムなのか、当社の技術が活かして、需要のある材料を模索中です」と遠藤社長は語る。

仕事の面白さを体感させる。

不二合金株式会社 代表取締役 遠藤和男

**地域のつながりから
若い人たちを積極的に採用**

どろどろと真っ赤に熱せられた金属を次々と型に流し込んでいく若い職人たちが。工場内に活気がみなぎっています。聞けば、不二合金株式会社の従業員の約半数が20代。ユニークなのは、同じ中学校の先輩後輩や祭りなどの地域コミュニティのつながりで入社した社員が多いということです。ものづくりに興味があれば、まずは見習いから仕事に就いてもらうとのこと。

遠藤和男社長は「未経験でも若い人たちが積極的に採用する理由は、他社で経験を積んだ職人さんは、どうしても自分のやり方に固執しがちで、当社のやり方と馴染まず苦労したことがあるからです。一から教えるのは大変ですが、どんどん吸収してくれる人を育てる方が、長い目で見ても会社にはプラスだと考えています」と話しています。

同社は銅合金にこだわった铸件の製造で、今年、創業百周年を迎えました。戦後、大阪府下に200社以上はあったとされる同業者が次々と廃業し、今では20社ほどだとか。そうしたなかで、同社が百年もの歴史を刻むことができたのは、技術的に難しい銅とアルミニウムの合金に1960年から取り組み、他社がなかなか真似のできないノウハウを培ってきたからにほかなりません。遠藤社長は、そうした同社独自の技術

を若い世代につないでいきたいと語っています。

自分たちで考え動くことで 仕事に面白みとやりがい

鋳物製造の全行程を設計する「鋳物方案」を任せられるようになるまでには10年かかるかと語るのは、遠藤篤志工場長です。入社して最初の仕事は、型から外した製品をきれいに仕上げするための研磨作業。そのなかで工具の使い方や、次の工程のことを考えながら作業をしているかといったことを見極め、本人の適正に応じた配属を決めるのだとか。

鋳物の製造は何と言っても、鋳型づくりが要であり、型の厚みや流し込み口の大きさひとつで、鋳物の品質を大きく左右します。その日の湿度や気温によっても出来上がりが違い、全く気の抜けるところがないと遠藤社長。経験がものを言うからこそ、つい若手の職人に対して具体的な指示を出してしまいがちでした。

しかし、それでは若い人は育たないと考えたのは、次代の不二合金を担う遠藤工場長と遠藤恵士さんです。「入社前に勤めていた会社で、一番つまらなかつたのは、上司から一方的に指示される、やらされ仕事」でした。自分で考えて行動するということが、本人のやりがいにもなると思いますね」と

恵士さん。遠藤工場長も「注文が来たら、みんなはどう型を作るか意見を出し合います。僕の意見は敢えて言わず、ただ聞くだけ。彼らが自分たちで考えたように型を作ることが、仕事の面白さにつながりますし、そうした経験の積み重ねで技術が上がるわけですから。なかには、人が失敗した型も観察し、その原因が何なのかを質問してくる職人もいますね」と語っています。

次代の経営陣が 期待の職人たちを育てる

仕事の面白さがわかるまでに離職する若い人が増えていくとされるなか、「型作りで一通りのことができるようになるまでの3年」という壁をどう越えさせているのか、遠藤工場長にうかがいました。

「当社は少量多品種の製品づくりなので飽きにくく、また自分たちの仕事の結果がすぐに見えるので面白みを感じるんだと思いますね。たとえ、作業の途中で間違いに気づいても、頭ごなしに指摘するのではなく、『これで大丈夫か?』『合っているのか?』と問いかけることで、自分で考え気づくようにしています。そして、不良品が出た時は時間を置かず、その場で何がいけなかつたのかを指導しています」と話しています。

最近、若い職人たちが『今月は射込み回数50回をめざそう』と日々の生産量や生産効率を意識したことを発言するようになってくれたのが嬉しいと遠藤工場長。「今後も若い人の採用を継続し、職人の世代を偏らせないことが、安定的な技術の継承、ひいては企業の発展に重要だ」と遠藤社長と工場長が口を揃えて語っていました。

先人たちの鋳物技術を引き継ぎ、 次代へ渡すことが責任

「多くの職人が長年に育ててきた技術が、同業者の廃業などで途絶えることに危機感を抱く」と遠藤社長。「同社に、そうした熟練技術者が再就職し、活躍している。一方、若い人の採用にあたり見習い期間が1ヶ月と短めなのは、本人の未来を大切に思うからこそ。どうしても、ものづくりに向かない人もいます。今日、多様な職種がありますから、1日でも早く適職を見つけてほしいと思いますね。」と語っています。

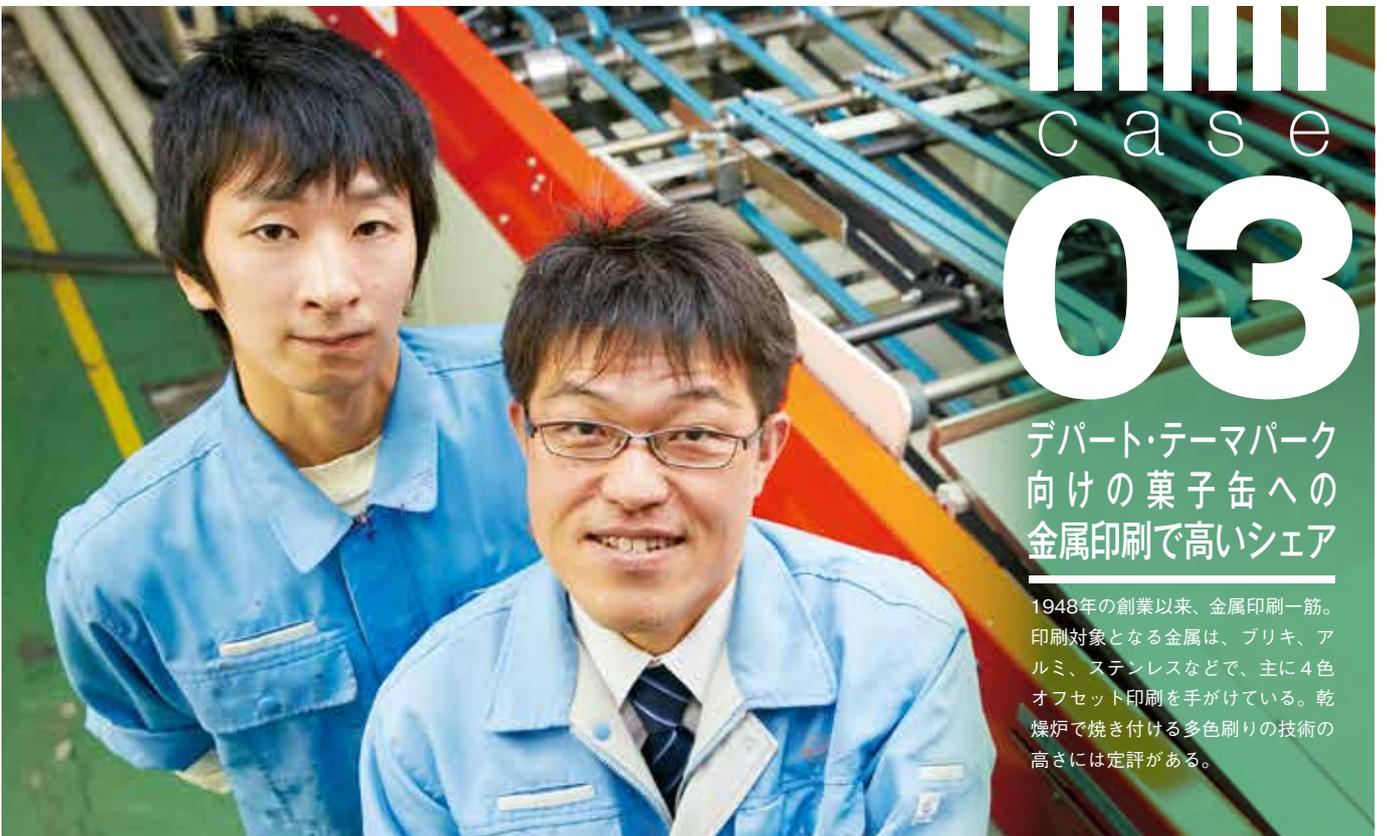


不二合金株式会社



早く組
取りた
ウのか
アムの
ニウの
ミニウ
ルニウ
青銅物
品質の
さが確
定は
ある。

代表者名／代表取締役 遠藤和男
本社／堺市西区浜寺船尾町東1-5
TEL／072-262-9440(代)
設立／1916年創業 1953年設立
資本金／1,000万円
従業員数／10名
事業内容／鋳物製造・販売
<http://www.fujigokin.com/>



case
03

デパート・テーマパーク
向けの菓子缶への
金属印刷で高いシェア

1948年の創業以来、金属印刷一筋。印刷対象となる金属は、ブリキ、アルミ、ステンレスなどで、主に4色オフセット印刷を手がけている。乾燥炉で焼き付ける多色刷りの技術の高さには定評がある。

定期採用で技術をつなぐ。

太陽ブリキ印刷株式会社 代表取締役 社長 小池良雅

テーマパークなどで見かける
美しい缶の印刷で豊富な実績

百貨店の洋菓子売り場やテーマパークのショップに並ぶ、色とりどりの美しい化粧缶。太陽ブリキ印刷株式会社は、こうした金属への4色オフセット印刷や特色印刷を得意とし、関西の有名洋菓子メーカーのパッケージ缶では、かなり高いシェアを誇っています。

「品質と納期をきっちり守る。その機動力や対応力が当社の強みです。そのためには、職人も設備もいつもベストの状態にしておくことが重要なんです」と小池良雅社長は語っています。

気温や湿度の微妙な変化でインクの硬さや乗りが違ってくる金属印刷。シビアな品質管理が求められるなか、昔はその微妙な調整を、職人一人ひとりの技術に頼っていたといいます。

「昔の職人さんは、先輩から身体で覚える“的に厳しく技術を叩き込まれています。今はそんなやり方で若い人たちはついてきませんし、育ちません。今後は、ある程度のことを数値で管理できるようにしていきたいと考えていますが、一方で、まだまだアナログな職人の技術は必要です。会社を次代につないでいくためには、人材の育成は欠かせないことです」と小池社長。

究極の印刷とは、最も少ない水量に最も少ないインキ量で、目標濃度を出し印刷すること

印刷の仕上がりは、印刷機の圧とインクの量の微妙な調整でずいぶん違ってくるとか。60歳以上の昔の職人たちは、メンテナンスも自分でできるほど機械を知り尽くしていたそうですが、今の若い人は機械に馴染みがなく、当社では年に約10回、専門家を招いて、機械の構造についての勉強会を行っています。

「今の若いもんはと、世代の違いのせいにするのは、経営者の怠慢ですよ。できるようになる機会と環境を作ってあげるのが私たちの役割かと思えます。そしてできるだけ成功体験を積ませてあげること。『うまくできたじゃないか』という評価をすることが大事だと思います」と小池社長は語っています。

ところで、当社ではこの20年間、毎年数名の新卒社員を定期採用しています。「人件費の負担が大きくなることもありますが、会社の10年、20年先を見据えた時に、各世代で職人が育っていることが大切です」。できるだけ地域に貢献したいという思いから、地元の高校から採用することが多いそうです。また、先代の小池淳二会長の頃から、障害を持っていたり、家庭に複雑な事情を持っていたりして就職の難しい若い人たちも積極的に雇用し、活躍の場を提供してきました。そうした社員の中

には、会長夫妻を親がわりに結婚式を挙げ、幸せな家庭を築いた人もおり、小池社長は「当社で育ったような社員が幸せになるのを見るのは感無量だった」と話しています。

世代ごとの感覚、考えを尊重 その時の経験が次の成長へ

当社では、新入社員はまず2〜3年、先輩職人の補助的な仕事をするなかで、仕事の流れを覚えてもらい、本人の適性に応じて印刷や塗装、製版といった部署への配属を決めるといいます。オペレーターを中心にラインごとにチームを編成。残業時間や休日の自由出勤については、納期と品質を守ることを前提に自分たちで計画させていると小池社長。「昔のように、働き方を会社が強制できる時代ではありませんから」。

小池社長の言葉で印象的だったのは「20代は20代の感覚、感情、考え方で働き、失敗するのなら失敗したらいいと思っています。40代、50代の我々が理屈だけ教えても、それは経験にはならないですから。それは30代、40代も同じこと。いつかオペレーターは40代までの社員に務めさせたいと考えています。ではその時、50代は何をすればいいのか。次の世代を育てられるだけの知識と技術、そして指導力を身につけてほしいですね。それはたとえ、どこにいつ

ても通用する重要なスキルだと思えます」。持続的な人材育成が、同社の発展に大きく寄与することが期待されます。

取材でうかがった3社の工場では、若い人たちがイキイキと活躍する姿が頼もしく見えました。知識も技術も外から押し付けるのではなく、自分で考えさせ、失敗させ、経験を積ませること、内から仕事の面白み、やりがいを見せさせることが成長につながっているようでした。経営戦略として人材育成を捉えることが、企業の成長に不可欠であることをあらためて確信しました。

太陽ブリキ印刷株式会社



印刷方法が紙印刷と全く異なる金属印刷。1版ごとに印刷されたインキは熱乾燥されて金属板に定着される。

代表者名／代表取締役社長 小池良雅
本社／堺市美原区多治井268
TEL／072-361-4433
設立／1948年創業 1951年設立
資本金／1,200万円
従業員数／35名
事業内容／一般缶、美術缶などの金属印刷



缶には、防災用食糧保存という重要な社会的役割も担って

「缶は、製品を美しく包装する機能ばかりでなく、防災用食料のように長期保存としての大切な役割も担っています」と小池社長。

堺刃物職人養成道場、 受講生奮闘中！

昨年10月、将来の刃物職人の育成を目的に始まった堺刃物職人養成道場。
1年間の予定のうち、3月で前半の基礎研修が終了しました。

たくさんの応募者のなかから、選考を経て道場に
参加しているのは、鍛冶コース5人、刃付コース8人
の計13人。道場では、職人の方から包丁づくりの基
本となる技術指導を受け、また各方面の専門家から、
金属加工やものづくりについて学びました。どの
受講生も道場のプログラムに熱心に取り組み、刃
物づくりの経験がなかったにもかかわらず、全員が
半年間の基礎研修を修了しました。

堺の包丁はプロのあいだで高いシェアがあり、特
に堺打刃物は、和食の料理人にとってなくてはなら
ないものです。近年、海外でもプロを中心に人気
があり、出荷量も増加傾向にあります。一方で、他
の伝統産業と同じように、作り手の高齢化と後継者
不足に悩まされています。堺の刃物は手作業による

職人技で製造されており、技術習得に時間がかか
るのも課題です。

受講生たちはこれからが本番。一人前の職人にな
るのはまだまだ先ですが、将来、堺の刃物づくりや
和食文化を支える人材に育ててほしいものです。



鍛冶職人・土井逸夫氏の指導を受ける受講生。

お
問
い
合
せ

堺市産業振興センター 販路開拓課

〒591-8025 北区長曾根町183-5
TEL.072-255-1223 FAX.072-255-5200
<http://www.sakai-ipc.jp/>

堺刃物商工業協同組合連合会

〒590-0941 堺区材木町西1丁1-30 堺伝統産業会館内
TEL.072-233-0118 FAX.072-233-8906
<http://www.sakaihamono.or.jp/>

「さかい利晶の杜」の無料ご招待券プレゼント！

開館1周年を迎える「さかい利晶の杜」との共同企画として、堺伝統産業会館でお買物をして
いただいたお客様に、「さかい利晶の杜」の無料ご招待券(展示観覧券)をプレゼントいたします。

「さかい利晶の杜」 展示観覧券 *1

先着300名様にプレゼント！

引き渡し方法 堺伝統産業会館で2,000円(税込)以上お買い上げにつき1枚進呈

引き渡し場所 堺伝統産業会館(堺市堺区材木町西1-1-30)

期 間 平成28年4月24日(日)まで*2

お問い合わせ先 堺伝統産業会館 TEL 072-227-1001

*1 他の優待制度とは併用できません。

*2 数量に達し次第、期間中でも終了いたします。



👑 ものを作る、明日を創る。

モノダン × モノジョ

堺市内で活躍する若手社員「モノダン(ものづくり男子)×モノジョ(ものづくり女子)」を毎号ご紹介します。



金融畑で培った経営センスを 家業のものづくりで活かす。

鍛造・製鉄会社向けの誘導加熱コイルの製造やメンテナンス業務を主な事業とする羽衣電機株式会社。昨年12月に新社長が誕生しました。三代目となる北田昇平さんです。しかし、ご自身は2007年に入社するまで、ものづくりにも家業にも全く興味がなかったのだとか。家業を継ぐとは思わず、大学は法学部へ進学。卒業後は、大手損害保険会社に就職しています。

「父に呼ばれて入社後すぐの仕事は、社内改革を進めISO9001認証を取得することでした。20代の若造が突然、口を出すんですから、社員とぶつかることもたくさんありましたが、結果として会社の組織化が図ることができまし

た。先代が大事にしてきた、製品を通して信用を積み重ねるということ、そして社員がチームで動くことにものづくりの魅力を感じますね」。

祖父が創業した当時の銅の加工やろう付けといった要素技術をうまく応用し、誘導加熱コイル市場である程度のシェアを確保できたのは、着眼点が良かったからと考える北田社長。「客観的に市場を眺め、一つの製品に固執することがないのは技術者出身ではない利点」と語っています。

現在は、販路を海外へ拡大すべく中国や韓国で積極的に営業を展開中。北田社長流の経営で、自社の事業価値を高めていかれるのでしょうか。



👤 代表取締役 北田昇平さん

現場の若い社員たちがイキイキと仕事をしているのを見ると、若者のものづくり離れを実感することはないと北田社長。「それが事実であるなら、当社も毎年きちんと利益を出すことで、ものづくりは、真摯に取り組めば見える形で成果が残せるということをアピールできると思います」と語る。



羽衣電機株式会社

1912年、電車のモーター保守事業で創業。高度経済成長期には大手電機メーカーのもとで、変電所で使われるコイルなどを製造していたが、その後、誘導加熱コイル市場に本格参入。現在は、国内の多くの鍛造関連企業をはじめ、高炉メーカー全社など、高いシェアでの納入実績を誇っている。高い省エネを実現した誘導加熱コイルには、大きな期待が寄せられている。
本社／堺市西区鳳中町 7-231
TEL.072-262-0860 <http://www.hagoromodeni.co.jp/>

「第20回 機械要素技術展」に堺の優れた技術を持つ9社(予定)が出展!



堺市産業振興センターでは、新たな販路開拓を積極的に行う堺市内の中小企業を支援するため、大規模な集客が見込まれる日本最大級の機械要素・加工技術を集めた専門技術展「機械要素技術展」へ共同出展を行っています。

平成28年6月に開催される「第20回機械要素技術展」には、優れた技術を有する企業9社(予定)が出展します。会場にお越しの際は、ぜひ堺市産業振興センターブースにお立ち寄り

りください。

なお、当センターにて、第20回機械要素技術展の招待券を配布いたしますので、ご希望の方はお問合せください。

第20回 機械要素技術展

開催概要

- 会期
平成28年6月22日(水)～6月24日(金)
各日10時～18時(24日のみ17時終了)
- 会場
東京ビッグサイト
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
- 来場者数
82,000人程度 (平成27年実績 81,469人)
- 主催
リード エグジビション ジャパン株式会社
オフィシャルサイト：<http://www.mtech-tokyo.jp/>

問合せ先 堺市産業振興センター 経営支援課
TEL 072-255-6700 FAX 072-255-1185

平成28年度 堺市の中小企業融資制度のご案内

堺市中小企業活力強化資金融資が拡充されました。

平成28年度から、事業継続計画(BCP)に基づき、自然災害発生時に業務を継続するために必要な措置を講ずるための設備資金については通常利率年1.4%のところ、利率年1.0%で融資します。

[拡充内容]

対象者	下記(1)及び(2)のうち、中小企業庁の公開する様式に則り、事業者自らが作成した事業継続計画(BCP)に基づき、自然災害発生時に業務を継続するために必要な措置を講ずるための設備投資を行う方 (1)市内の原則同一場所で6か月以上引き続き下記のいずれかの事業を営む中小企業者で、市内で設備投資を行う方 ① 製造業 ② 飲食店、宿泊業 ③ 卸売・小売業 ④ 医療業、福祉業 ⑤ 運輸業 (2)市外の原則同一場所で6か月以上引き続き製造業を営んでいる中小企業者で、市内で設備投資を行う方 中小企業庁HPアドレス： http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/ 又は「中小企業庁BCP」で検索してください。
融資限度額	5,000万円
貸付利率	年1.0%
貸付期間	設備資金10年以内
担保	担保として不動産又は有価証券が必要
連帯保証人	原則不要
信用保証料	特別利率(現在は堺市が全額負担)

※上記拡充以外の堺市中小企業活力強化資金融資(利率年1.4%)についても引き続き実施しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

[お問い合わせ先・申込先] 堺市ものづくり支援課中小企業支援担当

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5 TEL 072-255-8484 FAX 072-255-5162
(融資お客様専用ダイヤル)フリーダイヤル 0120-072-232
堺市HPアドレス：<http://www.city.sakai.lg.jp/> 又は「堺市中小企業融資制度」で検索してください。

医工連携促進事業のご案内

昨年度まで実施してきた「環境ビジネス」に代わり、平成28年度から、堺市産業振興センターでは「医療・福祉ビジネス」を成長産業分野のターゲットとして事業展開を図り、新技術・新製品開発を支援します。

事業実施概要

- ・専任コーディネーターを配置して企業訪問の実施
- ・医療分野への参入啓発セミナーの実施
- ・ビジネスマッチング



期待できる効果

- ・医療分野市場の理解
- ・医療分野参入可能性の発見
- ・医療分野に関係する支援制度の理解

お問い合わせ先

公益財団法人堺市産業振興センター
経営支援課TEL：072-255-6700

平成 28 年度 堺市の中小企業者向け支援事業のご紹介

○ものづくり新事業チャレンジ支援補助金

新たなものづくりに必要な費用の一部を補助します。

■補助対象者 市内で引き続き1年以上事業を行っている中小企業

■補助内容

【特定技術開発テーマ枠】(採択件数：1件/年)

堺市が指定したテーマに沿い、公設試験研究機関、大学、大

企業等の外部技術を活用して行う研究開発が対象

期間…2年 補助率…補助対象経費の2/3以内

補助上限額…2,000万円

【一般枠】

期間…1年 補助率…補助対象経費の2/3以内

補助上限額…500万円

■募集期間 平成28年5月2日～31日(予定)

■問合せ先 堺市ものづくり支援課

TEL:072-228-7534 FAX:072-228-8816

○市税優遇制度(ものづくり投資促進条例)

市内で工場等の新增築、建替え等の一定条件を満たす場合に市税を最長5年間軽減します。

■対象業種 製造業(植物工場を含む)、電気・ガス・熱供給業(新

エネ関連)、情報通信業、運輸業、学術・開発研究機関

工業専用地域、工業地域、準工業地域

■軽減税目 固定資産税(家屋・償却資産)・都市計画税(家屋)・事

業所税(資産割)

■優遇措置

	要件	軽減割合
(1)	投下固定資産額(土地を除く)1億円以上(大企業は10億円以上)	1/2
(2)	(1)の要件を満たし、土地取得1,000㎡以上(市内本社の場合300㎡以上)を伴い、建物を新增設または取得 ※市外からの新規立地は、市内雇用者1/5以上	2/3
(3)	(1)の要件を満たし、土地取得300㎡以上を伴い、建物を新增設または取得し、市外から本社を移転 ※市内雇用者1/5以上	3/4

■問合せ先 堺市産業政策課

TEL:072-228-7629 FAX:072-228-8816

○中小企業操業環境改善支援補助金

工場の操業環境を改善するための防音・防振工事または移転に係る一定の条件を満たす場合に、費用の一部を補助します。

■対象者 製造業を営む中小企業

■補助金額 補助対象経費(50万円以上)の1/2以内(補助上限額500万円)

■補助要件

防音・防振工事	工業地域、準工業地域、特別工業地区(第三種)に立地する工場で、 ○騒音・振動に係る苦情があること ○苦情を和らげるため、自ら対策を行っていること(行う計画があること) ○工場の敷地境界線から半径概ね50m以内に住宅があること
移 転	非工業系用途地域から工業専用地域、工業地域、準工業地域、特別工業地区(第三種)への工場の移転であること

■問合せ先 堺市産業政策課

TEL:072-228-7629 FAX:072-228-8816

○省エネ設備等導入支援事業補助金(先着順)

省エネ設備(高効率空調、LED照明、高効率ボイラ、インバータ制御コンプレッサ、EMS等)を2種類以上導入する際、費用の一部を補助します。

■補助対象者 市内事業者(風俗営業等除く)

■補助対象事業

対象事業所における省エネ設備の導入前後で、対象事業所全体の年間のエネルギー起源温室効果ガス排出量を、5%以上または10t-CO₂以上削減する事業が対象。

■補助内容

補助対象経費がそれぞれ50万円を超える事業であること。(EMSを除く)

補助額は、対象経費の1/3以内で上限150万円。ただし、事業所全体の年間エネルギー起源温室効果ガス排出量を10%以上または15t-CO₂以上削減する場合は上限250万円。

申請前に着手すると対象外となります。また、平成29年3月10日までに事業を完了することが必要です。

■申請期間 平成28年5月9日～平成28年12月28日(ただし、予算額に達し次第、終了)

■問合せ先 堺市環境エネルギー課

TEL:072-228-7548 FAX:072-228-7063

○空気圧縮機・省エネアドバイザー派遣事業(無料)

一般工場の総電力量の20～25%を使用するといわれる空気圧縮機に特化した省エネルギー化について診断し、具体的な改善内容を提案します。

■事業内容

市内の工場等に空気圧縮機の省エネルギー化に関するアドバイザーを無料派遣し、空気圧縮機の電流・圧力を1週間24時間測定し、追加投資を必要としない運用改善の手法や、負荷率に対応した台数制御、インバータ化などについて、アドバイスします。

■診断対象空気圧縮機

モータ(公称)出力7.5kW以上のスクリーユ圧縮機

※1つの工場等で4台を上限に診断を行う

■問合せ先 堺市環境エネルギー課

TEL:072-228-7548 FAX:072-228-7063

○省エネ・節電アドバイザー派遣事業(無料)

デマンド監視装置を3ヵ月間設置し、デマンド発生時間、発生原因をつきとめ、省エネ・節電についてアドバイスします。

■事業内容

市内の事業所に省エネ・節電アドバイザーを無料派遣し、電力需要が多い夏季若しくは冬季の3ヵ月間、デマンド監視装置を設置し、電力需要の推移を基にアドバイスします。

■派遣先

電力契約が500kW未満の高圧受電契約をされている市内事業所

■問合せ先 堺市環境エネルギー課

TEL:072-228-7548 FAX:072-228-7063

中小企業を
全力応援

公益財団法人
堺市産業振興センター

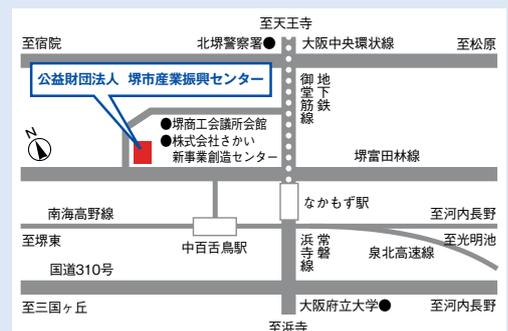
堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5

TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200

<http://www.sakai-ipc.jp/>



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m◎地下鉄御堂筋線なかもず駅より約300m※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

さ
か
い



語
り



上質の宇治抹茶で、ご馳走茶漬け。

美しい抹茶色を損なうことなく、しかも昆布だしの上品な旨味。西尾茗香園茶舗のお茶漬けの素「極 抹茶だし」は、鯛の刺身と生わさびを載せたご飯にかければ、立派な料亭の一品になりそうです。「新商品の開発にあたっては、抹茶入りぼん酢なども考えたのですが、柑橘の香りにお茶が負けるんですね。NHKドラマ『ごちそうさん』の料理監修を務めた料理研究家・広里貴子さんの『だしに抹茶を入れては?』というアイデアから、だし茶漬けの素はどうかと考えました」と語るのは、五代目社長の西尾晋造さんです。

驚くのは、製菓などで使われる加工用抹茶ではなく、茶道のお点前用の宇治産特選抹茶が使われていること。お茶の風味と味わい、そして鮮度を守ることも大変苦労されたとか。お茶の変質を抑えるため、コスト高でもすりガラスの

瓶を選んだのも、歴史ある茶舗としてのこだわりです。

製品化にあたってタッグを組んだのは、創業200年余りの歴史を誇る老舗醤油メーカー・大醬株式会社。堺市発祥の2社が老舗の誇りをかけて生み出した「極 抹茶だし」は、堺市の平成24年度「堺発! 売れる名品」に採択されています。



「抹茶だしは、冷奴や納豆にかけたり、天つゆや麵つゆとしても楽しんでいただきたい」と西尾社長。ご本人は焼餅を入れて、すまし雑煮風を楽しむのがお気に入りだとか。展示会をきっかけに、ベルギーやオランダへも輸出している。着色料や香料を全く使わず、宇治抹茶の極上の香りと風味が存分に生かした「抹茶プリン」も大好評。

西尾茗香園茶舗



五代目 西尾晋造社長

江戸時代は1854年創業の西尾茗香園茶舗。京都の宇治茶や福岡産の八女茶など西日本の産地から仕入れた高級茶葉を、自社の精選工場で加工した良質の茶葉や抹茶を販売しています。なかでも、独自に開発した焙煎機で煎られるほうじ茶は煙臭さの全くない上品な香りと風味が高く評価され、高級ホテルなどで多く利用されています。

日本ではペットボトルのお茶が主流になり、今や急須を持たない家庭が増えているなか、西尾社長は十数年前から、マレー

シアをはじめとする東南アジアやオーストラリアなど、海外へ積極的に販路を拡大してきました。「健康志向から人気を集めているほか、今や“MATCHA”で通用するほど、抹茶への関心も高まっているように思いますね」と西尾社長。上質の美味しいお茶の楽しみ方をもっと世界に広めたいと、夢は広がります。

● 本社 / 堺市堺区市之町東1-1-24 ☎072-232-4389
http://www.nishioimeikouen.com/

